

平成26年9月25日

古賀市議会
議長 奴間 健司 様

決算審査特別委員会
委員長 清原 哲史

決算審査特別委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を、委員会条例第110条の規定により報告いたします。

記

今定例会における9月1日の本会議において、決算審査特別委員会に付託されました平成25年度決算関係議案、第51号議案から第58号議案までの8議案について、審議の経過と結果についてご報告いたします。

審議に当たり、市長、教育長、監査委員、関係部課長の出席を求め、決算概要の説明を聞くとともに、監査委員から提出の決算監査意見書及び成果報告書ほか、委員会請求資料などを参考に、去る9月11日、12日、17日から19日の5日間にわたり、審査を実施いたしました。

なお、計数などの詳細につきましては、議長、監査委員を除く議員16名の特別委員会でありますので省略させていただき、概要を報告いたします。

第51号議案 平成25年度古賀市一般会計決算の認定について

2款 総務費では、

市内公共交通網整備事業の路線バス運行補助では、利用者の減少と西鉄への補助金の増加やシャトルバス運行実験の成果と実験運行の期間、地域サポート補助では、利用地域の拡大の取り組みなど延べ14人の委員が質疑を行いました。

3款 民生費では、

福祉タクシーの利用率や災害時要援護者の同意率向上のための取り組み、緊急通報システム、安否確認コール、高齢者の外出促進、医療情報キットの配布状況など超高齢社会に向けた内容に質疑が集中し、延べ12名の委員が質疑を行いました。

4款 衛生費では、

市民ウォーキングイベントをRKBに委託しているが、その効果と妥当性。環境基本計画策定委託の成果物に対する評価や審議会・パブコメの評価、剪定枝回収範囲の拡大。玄界環境組合負担金では、ごみ減量や資源化、負担金への反映について、循環型社会の実現に向けた質疑、食生活推進委員の活動状況、家族コツコツ健康づくりでは、骨密度

測定の地域、企業、学校での実績など、延べ9名の委員が質疑を行いました。

5款 労働費では、

就職相談窓口での実績や正規・非正規の割合と定着率、就労後のフォローについて、古賀の逸品販売促進事業の販売品目、販売実績など、2名の委員が質疑を行いました。

6款 農林水産業費では、

活力ある高収益型園芸産地育成事業における補助率や生産高、K1グランプリでの販売実績、広域イベントの効果、有害鳥獣駆除の実績と猟友会の高齢化の問題、基盤整備促進事業での環境への配慮、耕作放棄地対策、林業振興のための取り組みはどの様にしたのかなど、延べ6名の委員が質疑を行いました。

7款 商工費では、

プレミアム商品券の利用実績と地域活性化についての評価、中小企業融資預託金はセーフティーネットとして利用しやすいようになっていたか、観光協会事務局長を配置した効果、消費者相談により救済できた件数と金額など、3名の委員が質疑を行いました。

8款 土木費では、

放置自転車の現状と防止策、公園改良事業の進捗状況、道路の除草と剪定は適切な時期に行われたか、市営住宅の耐震化診断の状況、道路ストック点検の内容など、4名の委員が質疑を行いました。

9款 消防費では、

消防団の全出動回数と誤報による出動回数について、1名の委員が質疑を行いました。

10款 教育費

学校教育関係では、古賀市が独自で配置している学習支援アシスタント、スクールソーシャルワーカーの配置と活用状況及び他団体との連携について、QUアンケートの効果と活用方法について。高等学校等入学支援金のその他の11人は、新たに発生したものなのか、あるいは申請漏れなのか。図書司書の研修内容、図書購入選定方針、図書の廃棄。消防設備保守点検委託では、不良への対応と改善がみられていない理由、特別支援員の配置やグラウンドの芝生の維持管理などの質疑を行いました。

社会教育関係では、図書館の地域別利用状況と図書館ネットワークについて、市民に利用しやすい図書館の開館時間の設定、日本の次世代リーダー養成塾卒業後の活用について、少年の船の効果とその後の活動について、分館活動への補助に対する評価と市の関わりや支援についてなど、延べ13名の委員が質疑を行いました。

歳入全般では、プライマリーバランスについての考え方や経常収支比率目標値84%が90.2%となった要因、住宅管理使用料の収入未済額と件数について。市税、固定資産税、軽自動車税の不納欠損の理由と対応、不動産売却収入の売却手順と判断についてなど、延べ5名の委員が質疑を行いました。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり

1. 路線バス運行補助では、年々補助額が増加しているが利用者は減少傾向にあり、シャトルバスなどを含め、全般的な公共交通の直しが必要。
2. 循環型社会の実現に向けた具体的な内容が示されず、古賀清掃工場を長寿命化した場合の維持管理費の試算がされていない。
3. 市民の健康意識を高めるために、骨密度測定の活用や健康づくり推進委員の育成、食進会の育成強化、地域担当保健師による日常的活動が必要。

【自由討議】

今回初めての試みである自由討議を、議論が集中した公共交通をテーマに実施しました。委員からは、

・西鉄バス補助は、運行収入3840万円に対し、補助3560万円となっており、利用の減少が運行収入の減少につながっている。シャトルバスは、利用コストから西鉄バスの活用検討も示されているが、運行便数などを考えると本来の目的に沿うのか疑問である。地域サポート補助は、花鶴3丁目だけで他への拡大ができなかった。このような点から考えると、今後さらに進む高齢社会に向けた公共交通の必要性は重要で、公共交通活性化委員会の検討を加速すべき。

・赤字補てんが青天井となっている現状を見ると、西鉄は企業努力をしているのか。市民が利用しやすいバスにならなければならない。費用対効果を検討し、市民はコミュニティバスを望んでいる。コミュニティバス、委託の場合、路線バスの場合、シャトルバスの拡大など、あらゆることを検討すべきだが、公共交通活性化委員会に任せていますでは、無責任ではないか。方向性などをリードする執行部の姿勢が足りない。公共交通は、走る福祉施設として公共施設や病院、スーパーなどを回ってほしいとの願いを実現できるのかなどの検討が足りていない。

・交通政策基本法の中に、高齢者や障がい者の円滑な移動のための施策が法律で定められたことが、これまでと大きく変わった。公共交通活性化委員会が、路線バスありきではなく、市全体を考え深く調査・研究して、デマンドバスやコミュニティバスなど古賀市独自の公共交通の在り方を検討していただきたい。

・シャトルバス実験運行委託、路線バス運行補助、地域サポート補助は、市内公共交通網整備事業費に計上されている。個別に検討するのではなく一体的に検討すべき。活性化委員会にゆだねている市の姿勢は問題。市民にとってベストな選択となるよう国の法律改正などを踏まえ検討すべき。

・路線バスの利用者減は、必要がなくなったとの見方もできるのでは。その背景として、コンビニなどの民間が宅配に力を入れている。市内を地理的に見ても交通循環は恵まれている。公共交通は必要な部分であるが、コンビニなどの配置など総合的に勘案し、公共交通を広げていくのか、縮小していくのか。利用者減少の実態をつかむことと、高

齢者がどのように利用しているのかを考えることも必要。

・いろいろと案も出たが、執行部においては真摯に受け止め、今の形にとらわれずしっかりした案を作っていただきたい。

以上、6名の委員からの自由討議がありました。

続いて、第51号議案 平成25年度一般会計決算の認定についての討論に入りました。

【意見】

(賛成意見)

個別の施策で評価できるものは、グリーンカーテンの匠事業において環境負荷低減の啓発や、屋外広告物の整備により良好な景観形成に努めたこと、消費者相談により68件2489万円もの救済ができ、詐欺事件から市民を守ったことなどが評価できる。

公共交通網整備事業では、多額の運行経費を投じながらも、市民の満足が行く施策となりえていない。環境への取り組み、「環境基本計画」の策定、「循環型社会研究会」のあり方など不満もあるが、今後の取り組みに期待したい。

超高齢社会の進展に伴い、高齢者の見守りや健康づくり、子育て支援など、地域コミュニティの取り組みは一層重要になり、公民館活動の充実が望まれるなど気になる点を挙げたが、監査意見書にもあるように、財政運営は依然として厳しい状況にあり、最小の経費で最大の効果が上げられるよう努力されることを期待する。

(反対意見)

西鉄バスの利用減少は著しく、路線やダイヤなど市民が望むものとはなっていない。今後の方向を活性化委員会にゆだねるのは、自主性がなく市民の要求に答えようとしていない。コミュニティバスの実施が必要。保育士等処遇改善臨時特例事業は、一過性のものであり抜本的な改善にはつながらなかった。市民のごみ減量が反映されず、古賀清掃工場に対する負担金が9億円を超える問題。高齢者に対しても、医療や福祉の負担が増し、安心して暮らせるものになっていない。学校関係では、ソーシャルワーカーや少人数学級の拡大、学力向上のための講師の配置も不足している。このような点からこの決算は認められない。

【審査結果】

委員会は、賛成多数でこれを認定すべきものと決定しました。

第52号議案 平成25年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について

貸付金の滞納などについての質疑を行いました。

【意見】

(反対意見)

まだ多額の返済残が残っており、貸付金は税金であることから回収努力が必要。

【審査結果】

委員会は、賛成多数でこれを認定すべきものと決定しました。

第53号議案 平成25年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定について

慢性腎臓病への対応やレセプト点検による多受診者への指導、ジェネリック医薬品の推奨、滞納分の収納率の低下や短期資格証の発行による問題などの質疑を行いました。

【意見】

(反対意見)

所得の低い人が高い保険料を負担するのは、国保の構造的矛盾である。不況が滞納者を増やすことになり、不納欠損の中には、払いたくても払えない高い保険税で苦しんでいる人が多くいる。

【審査結果】

委員会は、賛成多数でこれを認定すべきものと決定しました。

第54号議案 平成25年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

収入済額の特別徴収と普通徴収の割合、短期被保険者証発行の問題などの質疑を行いました。

【意見】

(反対意見)

経済的弱者である低年金・無年金・低所得者への減免もなく、高齢者の生活を圧迫するものになっている。

【審査結果】

委員会は、賛成多数でこれを認定すべきものと決定しました。

第55号議案 平成25年度古賀市介護保険特別会計決算の認定について

不納欠損調査内容、要支援1・2の増加の要因、えんがわくらぶの活動、健康づくりサポーターの活動状況などの質疑を行いました。

【意見】

(反対意見)

滞納者の多くが経済的理由によるもので、滞納が続けば介護サービスの制限へとつながり、市が補完すべき介護サービスの責任を果たしているとは言えない。

【審査結果】

委員会は、賛成多数でこれを認定すべきものと決定しました。

第56号議案 平成25年度古賀市公共下水道事業特別会計決算の認定について

汚泥の処理と資源化、水洗化の進捗状況、使用料の不納欠損、未接続者への働きかけなどの質疑を行いました。

【審査結果】

委員会は、賛成全員でこれを認定すべきものと決定しました。

第57号議案 平成25年度古賀市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

汚水処理施設設計委託、米多比・薦野地区の工事の進捗状況、不納欠損について質疑を行っております。

【審査結果】

委員会は、賛成全員でこれを認定すべきものと決定しました。

第58号議案 平成25年度古賀市水道事業会計決算の認定について

有収率の減や福岡地区水道企業団と自己水源からの受水割合、有収水量と配水量の割合、料金体系の見直しなどの質疑を行いました。

【意見】

(反対意見)

15億円の余剰金があることから、水道料金を引き下げるべき。海水淡水化事業やダ

ム開発事業などへの市民の負担は大きく、福岡地区水道企業団との関係を見直すべき。

【審査結果】

委員会は、賛成多数でこれを認定すべきものと決定しました。

以上、決算審査特別委員会の審査概要を報告いたします。決算審査にあたっては、資料要求や文書回答など決算に関する資料が事前に提出され、審査の充実が図られたことに対し、執行部の努力と協力を改めて感謝申し上げます。

最後に、決算認定制度の意義として、次年度の予算編成と財政運営に、審議過程での反省事項や改善事項を生かすことが求められます。予算執行の責任者である市長は、ぜひ真摯に受け止めていただき、市民満足度の高い次年度予算となることを望み、委員長報告を終わります。